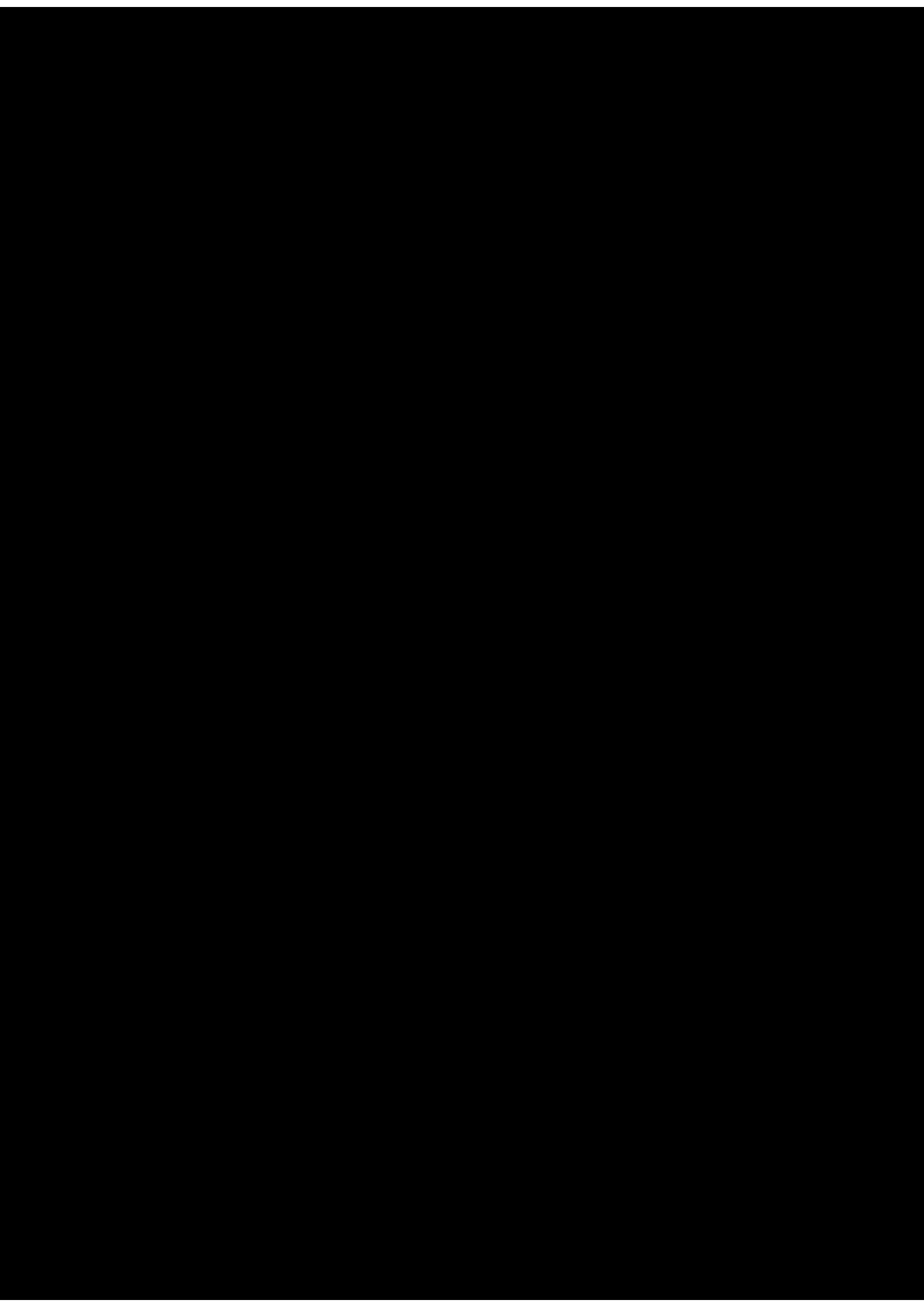


DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



聖魔騎士
エリス 前編
~ザコ猿化の呪い~





えいっ

あ

あ

食らい
クサレツ
エリスっ!!

あ



ヴリース!!

炎

エール

聖なる





追い詰め
たぞ…

ムドエル!

オマエは
いつもいつも…

オマエは
アア

エリステル
ウウウ…

あと一歩の
ところで
ワシの邪魔をおお



ゲヘニム
ゲート事件

罪状多々
……!



マルスクライン卿
暗殺未遂



魔学院
転覆事件



魔学院時代の
きさまは、
優秀だった!!

『汚れた血』と
蔑まれながらも

ひたむきに
努力し続ける
きさまにっ

私はッ

敬意を
抱いていた!
それなのに…ッ



なぜ…

罪を重ねる
…

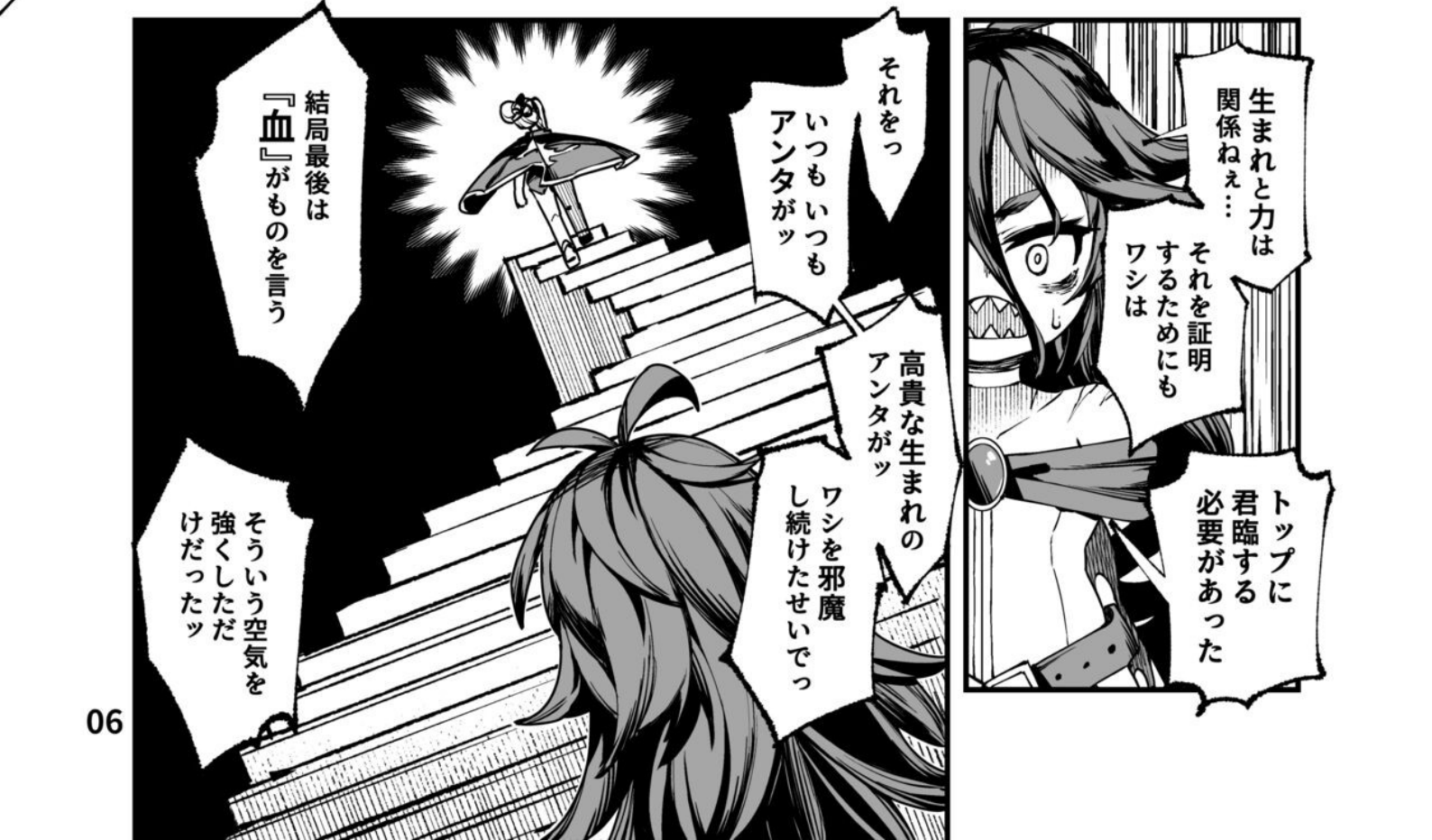


うるせええ

万年
学年主席の
エリステルッ

常にワシの上に
居座りつづけた
忌々しいアンタに

言われたく
ないん
だよオオオ



生まれと力は
関係ねえ…

それを証明
するためにも
ワシは

トップに
君臨する
必要があった

それをっ

いつもいつも
アンタがッ

高貴な生まれの
アンタがッ

ワシを邪魔
し続けたせいだっ

結局最後は
『血』がものを言う

そういう空気を
強くしただ
けだったッ



ワシを蔑み
踏みつけにした
魔学院の連中もッ

この国も！

そして
アンタも！！

一切合切
腐り落とさなきゃ
気がすまねえんだ！



そのような

邪念が――



くそッ
クソッ
クソッ
クソッ
クソッ

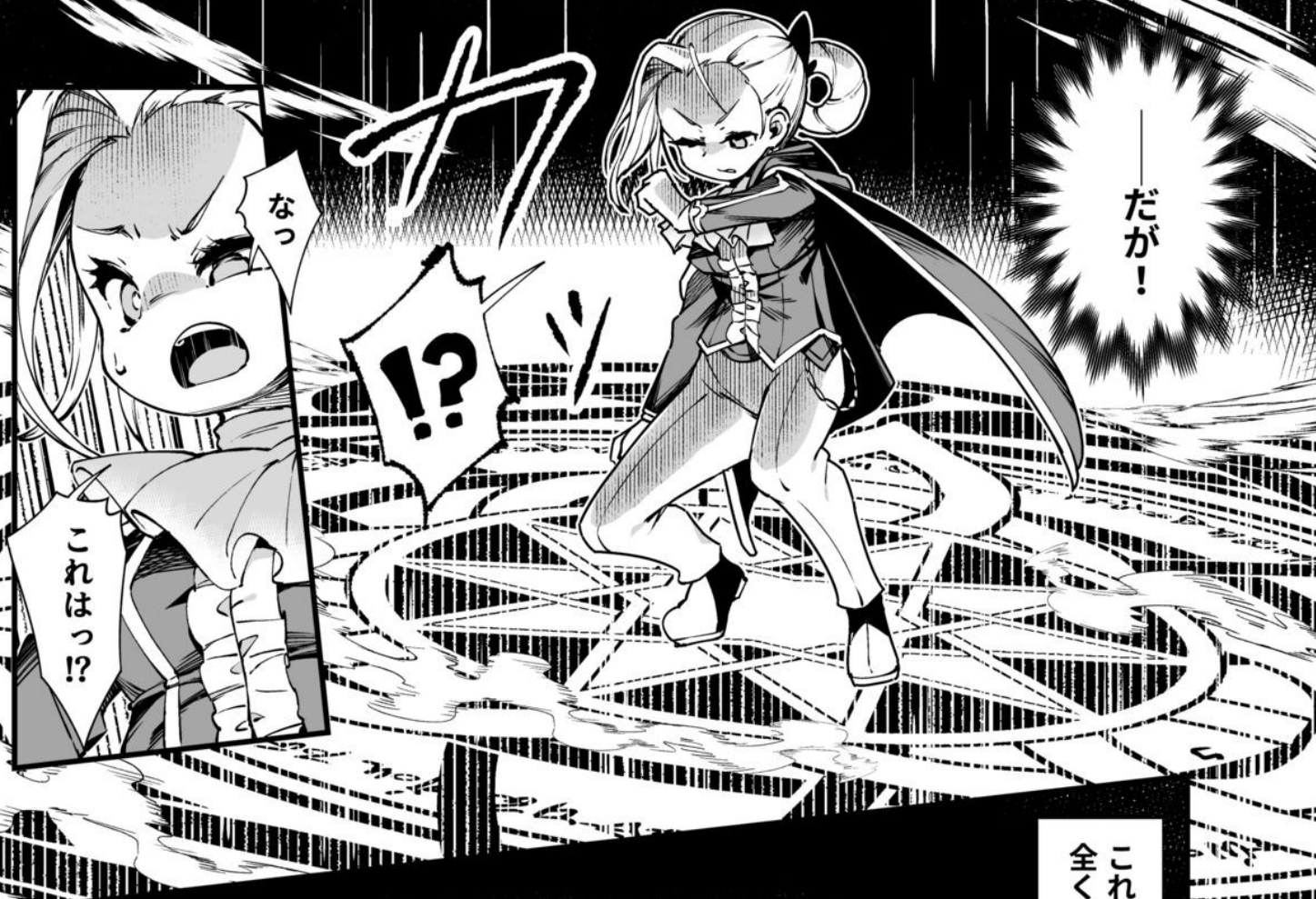
っいぞ！
っいぞ！
ワシの力で

エリステルを
打ち破ることは
叶わなかったか



――きさまに枷を
嵌めている
ということが

まだ
わからない
のか……！



だが!

これはっ!?

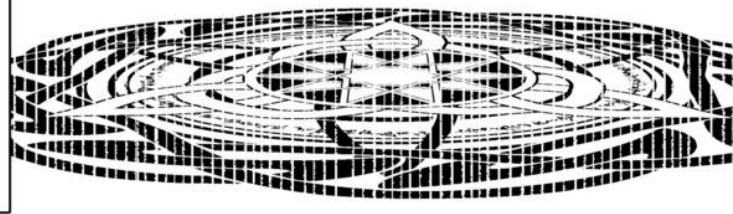
なっ

カ
!?

これを発見したのは
全くの偶然だった

失われし
古代の魔法技術

それは
モノによっては
国をも滅ぼし
かねない
第一級の危険物



通常ならば
見つけ次第

聖魔騎士団への
報告義務があり

反すれば
重罪

3ヶ月この陣の
効果を調べたが
結局ほとんど
分からなかった

分かったのは
陣を発動すると

対象に呪いのような
ものを付与する
らしいってことだけ



クソツ怨敵に
矢報いるのに

どこぞの悪魔か
ナニカが残じた

よく分からんモンに
頼らなきや
ならんとは!!!

だが
負けるより
万倍マシじゃッ！

食らいクサレツ
エリステル
ウウウウツ！！

あぁア
あぁあッ！





な…こっ
ッ

叩
オ

なっ
はあ？

これえ…ッ
!?



…ヒッ



グヒヤヒヤ
ヒヤッ

サル
猿か？



猿になり
おったわッ！



なっ
何を
したっ!?



ムドエルッ！

クク…
古代魔法陣
じゃ…

古代魔法!?

まさか





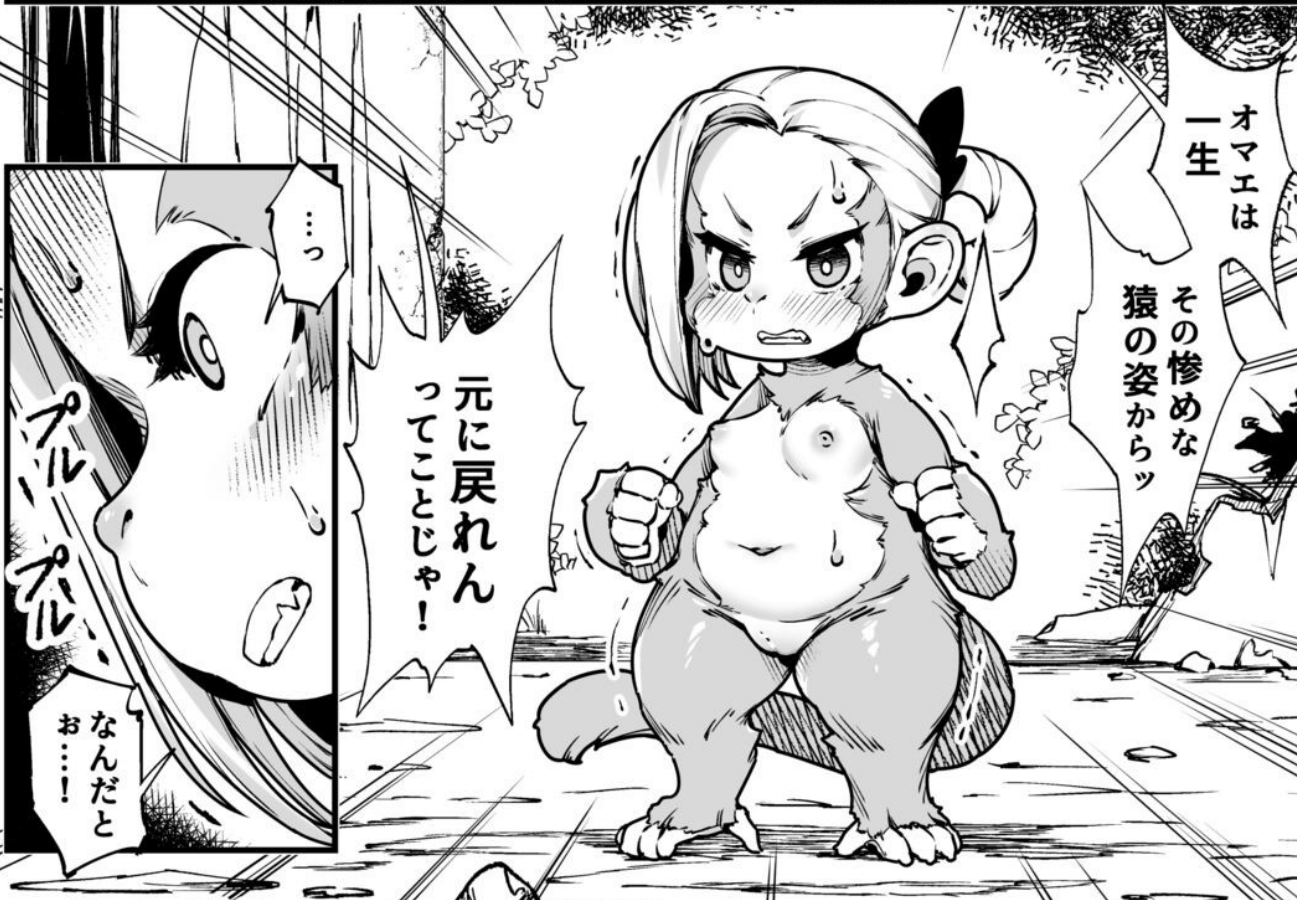
そう…

古代魔法はその知識のほとんどが失われ

今となつては仕組みすらわからんものが多い…

とくに術式の解読を大前提とする『解呪』なんぞはまず不可能…!

つまり…グヒヒッ



オマエは一生

その惨めな猿の姿からッ

元に戻れんってことじゃ!



なんだとお…!!



重い…!!

そんな身体でまだ戦おうっていうんかいっ

ハハッ

ズ



くっ!

ツルツル



おやおやおやア... これは

魔法耐性がほとんどゼロじゃないか

赤子以下だね
こりゃ呪いも
かけほうだいだ



まずはその
ナマイキな
口を...

塞ぐのは
面白くないねえ



キヒヒッ

なにを
いまさら!

それ以前から
腐るほど
罪状があるわ!!

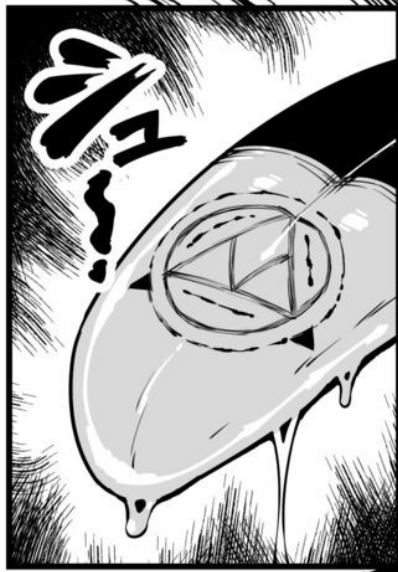
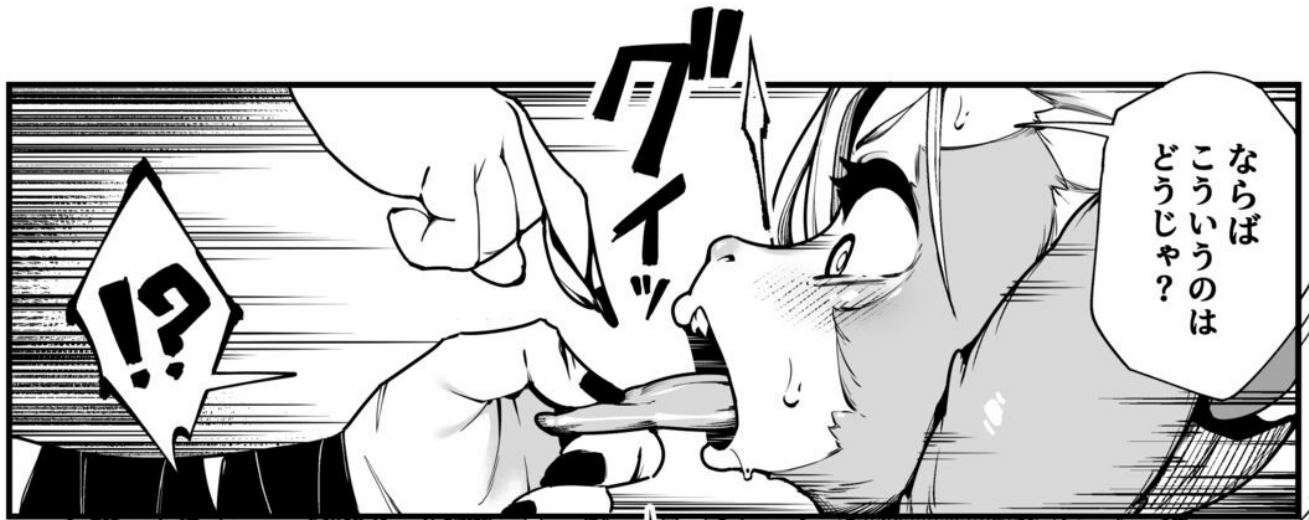


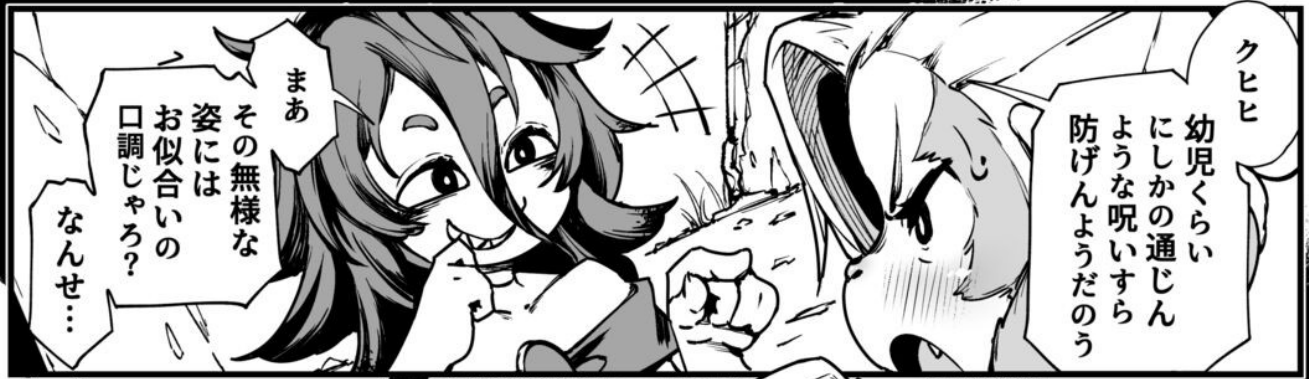
ムドエルツ

古代魔法の
行使は
最上位の重罪!!

分かって
いるのか

もう後戻り
できない
ことを!





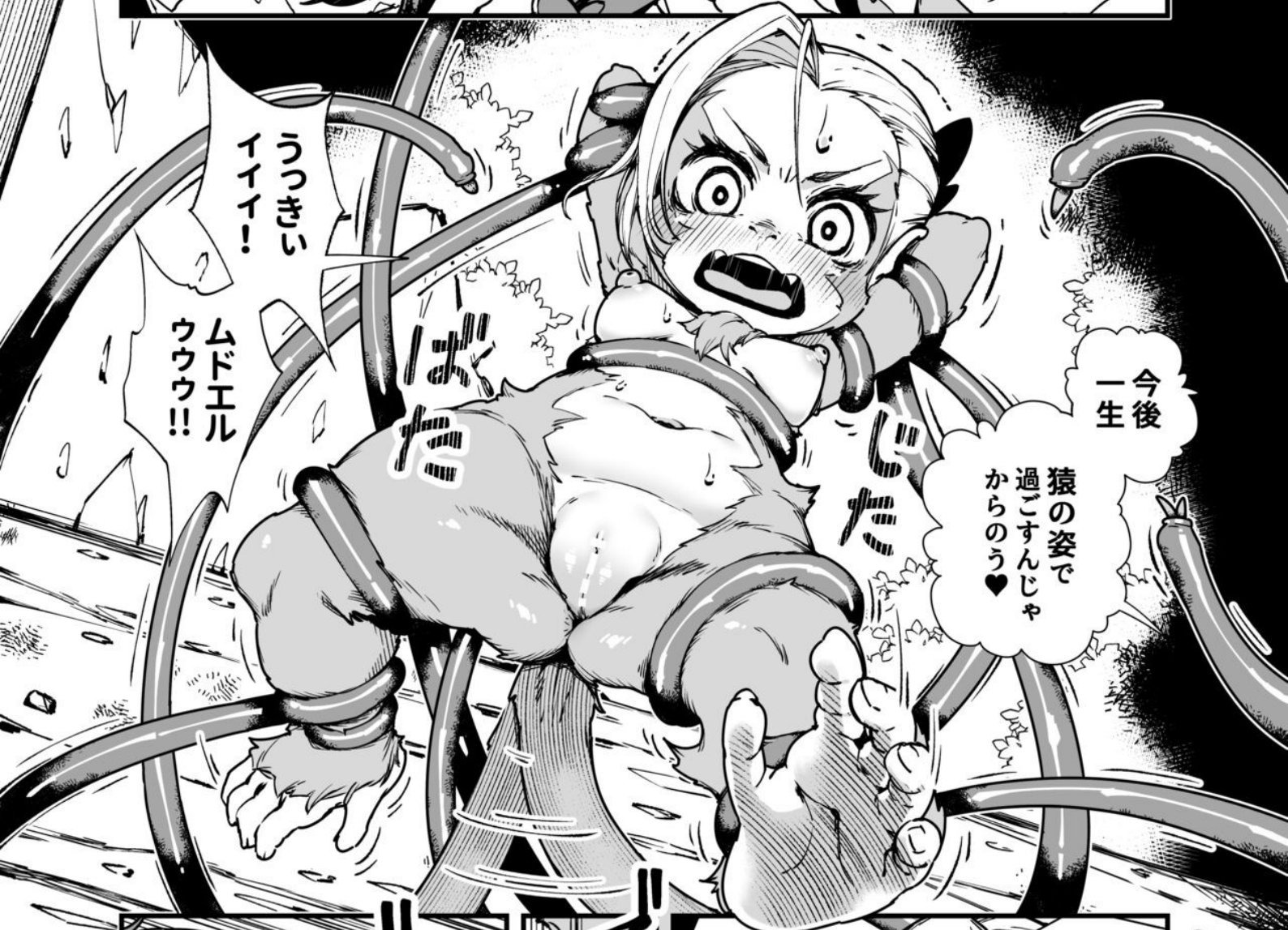
クヒヒ

幼児くらいにしかの通じんような呪いすら防げんようだのう

まあ

その無様な姿にはお似合いの口調じゃろ?

なんせ...



今後一生

猿の姿で過ごすんじやからのう♥

うつきい
イイイ!

ムドエル
ウウウ!!

ばた

だ



だが安心していいぞ昔からのよしみじや

ワシの使い魔として隷属させてやろう!
キヒヒ



うつぎい!
魂まで墮落
しくさった
きさまなどに
誰がッ

キッ
従ってやる
ものかッ!
きいッ!!

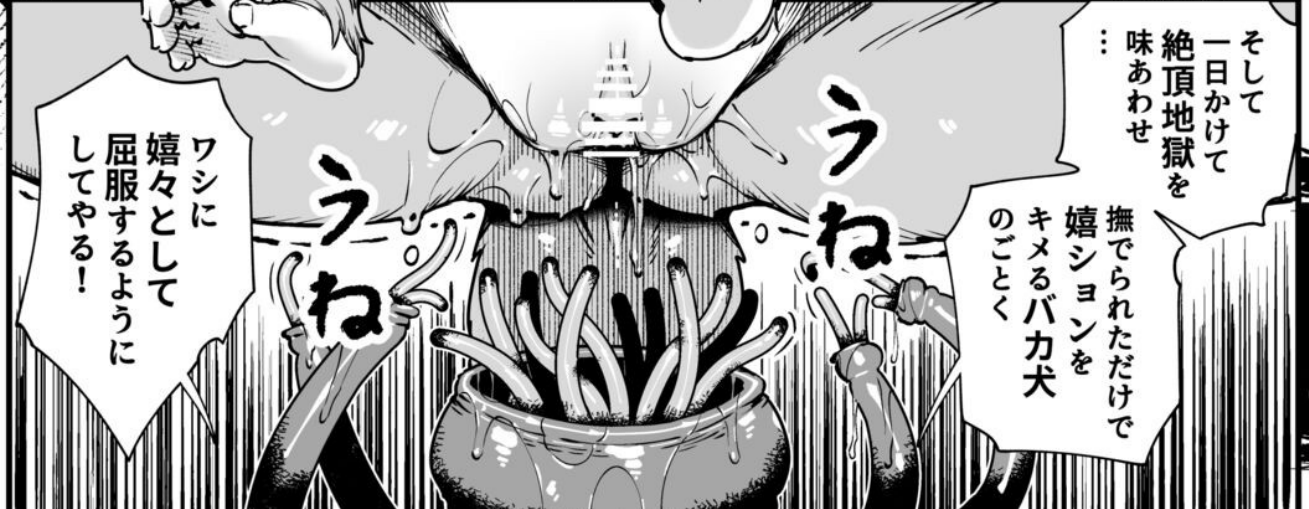


ウキッ!?

バチ
バチ

イツ♡

これは
『性的絶頂』を
する度にワシへの
服従心が刻まれ
ていく呪印じゃ……!



そして
一日かけて
絶頂地獄を
味あわせ
撫でられただけで
嬉シヨンを
キメるバカ犬
のごとく

ワシに
嬉々として
屈服するように
してやる!

うね

うね



あつんッ...
くっ...♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ブル
ブル♡

...イッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

ムンッ♡

そのさへはッ♡
やめッ!!おビ

うきッ!!

あつんッ♡
うきッ!!
ダメッ

ムンッ♡

ムンッ♡



下僕猿の
エリスっイク
うきいいい♡

エリス
イクう♡

ムドエル
さまっ♡

イク♡
イクっ♡

くち♡

くち♡

くち♡

あっ♡
あっ♡

くち♡

くち♡

くち♡

ムドエル♡



ムドエル…
さまあ…♡
んっ…?

ハア♡
ハア♡
い…い…
もぐ…
のお…
…



耐えるっ

耐えてっ

人の意思を
曲げる卑劣な
呪い……っ

こ…
こんなっ

ムドエル…っ♡
…さまを
求めてしまおう♡

くっ
気を抜くと

あッ!

ちがっ

またっ
…!





ムドエル
さま…っ
なんかにイ…ッ

絶対対ッ!!

従わない
うつきい
いい!!

…っ!?

服従心を刻む呪印が
効いていないとは思えん…

それでも…

それでも…っ
ワシへの
反抗心が

上回ると
いうんかい…

エリス…ッ!

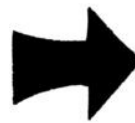
こんのッ…
バカザルがッ

■後編へとつづく…

■キャラクター紹介



古代魔法により
無力な猿の姿へ



■エリステル(愛称：エリス)

身分、血統、実力ともに常にトップを行く王道の聖魔騎士。ムドエルと同じ魔学アカデミーに在籍。アカデミーにおいては血統・身分の差によるカーストのようなもの形成されており、階層の違い過ぎる者とはとても交友を持ってない空気が醸成されていた。血統的不利の中で抜きん出た実力を持つムドエルに対しては、関心を持ちながらも交友を持つことを許さない状況に、密かに歯がゆい思いをしていた。卒業後は誉れ高い王都聖魔騎士団に所属。ムドエルが引き起こす数々の事件を、大事に至る前に鎮圧阻止し、因縁の関係へと発展していった。

古代魔法によって無力な猿の姿へと変えられたエリステル。魔法耐性が赤子以下となり、いかなる呪いも安々と受けてしまう。ムドエルの呪いで、猿を思わせる滑稽な口調を強制され、さらに服従心を受け付けられる。しかし強靱な精神力によって耐え反抗の意思を示す。



■ムドエル

実力を持ちながらも不利な血統、身分、攻撃的性格、そして特異な魔法属性により、いじめや差別を受けるなどしてきた。実力を以てそれら全てを覆すために、アカデミー時代ではエリステル打倒を目標としていたがついにそれは叶わなかった。承認に飢えた獣ムドエルはあらゆるものへの怒りから暴走し、ローンウルフテロリストとなる。アカデミー爆破、要人暗殺未遂、王都にゾンビの群れを出現させるなど数々の問題事件を起こす。しかしいずれも大事に至る前にエリステルによって阻止され、アカデミー時代からの因縁はより強固なものとなっていく。

実力ではついにエリステルに敵わず、古代魔法の力でなんとかエリステルの無力化に成功。敵意、嫉妬、畏怖、羨望、長年の因縁の相手であるエリステルに対して、ムドエルの中では愛憎入り交じるただならぬ感情が醸成されている。服従を植え付ける呪いに抵抗したエリステルに対して、いかなる手を使ってでも絶対に屈服させたいという思いが強くなる。

■あとがき

クソザコ弱体化猿化をやりたいと思った!!

ストーリー等のネタはともかく、
デザインにおいてサル系はなかなか難しいなと思いました。
リアル猿はそれほど好みってほどではないのですが、
絵に描かれ誇張化されたサルは結構好きなんですよねえ。

絵として誇張化され、
ステレオタイプ化されたものの魅力ってありますよねえ。
『短足で金玉のデカイタヌキ』とか、『脂肪まみれのブタ』とか。

リアルの猿は動物の中では比較的頭がよく、
人より握力が強いなど、以外とパワーがある感じですが、
ステレオタイプ化されたサルのイメージというと、
低能、非力、自慰中毒、ウンコを投げる、など滑稽な印象が多いですね。

そういったイメージのもと、姿をサルに変えられるというのは
なかなかの屈辱的でイイと思います。無様エロと親和性がある。

今回の話は、本文39ページで終わるネームを描いていたのですが、
スケジュールの関係で(主に私がサボったせいですが)、
前後編に分かれました。すいません！
後編は冬コミに出ると思います。よろしく！

半しゃる

タイトル：聖魔騎士エリス ～ザコ猿化の呪い～ 前編

発行：ななめ班

出版者：半しゃる

pixiv：<https://www.pixiv.net/users/6207>

Twitter：<https://twitter.com/hareharehex>

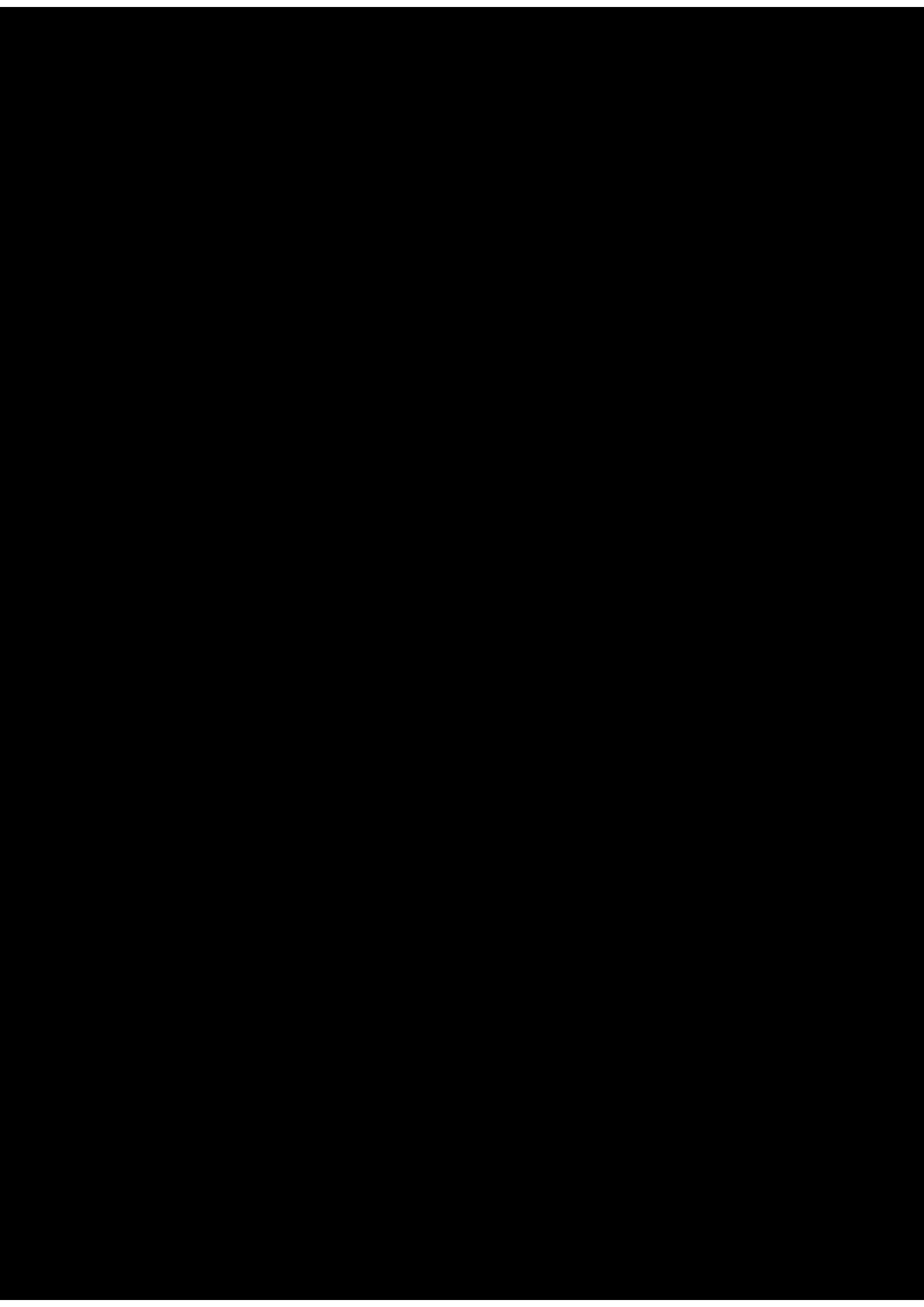
発行日：2023年8月13日

印刷：



SUN GROUP

<http://www.sungroup.co.jp/>



ななめ班